

水產會法案特別委員會會議事速記録第三號

大正十年三月十四日(月曜日)午後一時三十九分開會

○委員長(伯爵吉井幸藏君) ソレデハ是ヨリ開會イ
タシマス

○荒川義太郎君 チョット政府ニ伺ヒマス、此法案ニ
付テ大體ニ於テ私共ハ一體異議ハナイノデアリマス
ガ、唯強制徵收ノコトニ付キマシテドシナモノダラ
ウカト云フ疑モ有テ居ルノデアリマスガ、元來ノ稅
ノ外ニ強制徵收ト云フヤウナモノヲ拵ヘルト云フコ
トハ頗ル面白クナイ、又弊害ノ隨分起リ易イモノノ
ヤウニ私共ハ考ヘマス、殊ニ今日ハ却テ町村ニ於キ
マシテモ諸稅ノ負擔ガ却テ重イ所モアリマスルシ、
是ハ成ベク大シタ費用デモナイ、詰リ平均五十錢位
ノ積リダト云フヤウナ政府委員ノ御話モアリマス
ラシテ、却テ平均五十錢トシテ見マシテモサウ輕イ
モノデモアリマセズ、斯ウ云フモノヲドウモ公法人
ニシテ置イテ、ソレデ取ルト云フコトニシマシタ所
ガ元來水產會ニ於テモ、其他斯ウ云フ會ト云フモノ
ハ、ソレハ町村トカ府縣トカ云フモノトハ、餘程趣キ
ヲ異ニシテ居リマシテ、行政吏員ガ直接ニ當テ居ル
譯デアリマセズ、御監督ハ出來ルニシタ所ガ、弊害ヲ
頗ル生ジ易イモノデアリマス、又此水產會ノ問題ニ
至リマシテハ成程種々ノ此水產ノ改良發達ヲ促ス點
ニ付テハ必要トハ申シマセズ、ソレ相當ノ何モアリ
マセウガ、併ナガラ之ヲ強制徵收マデシテ矢張り市
町村トカ何トカ云フ様ナ公法人ト同ジ様ニシテ、サ
ウシテ取ッテ行クダケノ必要モ如何ナモノデゴザイ
マセウカ、是迄出來テ居リマスル農會ハ、アレハ公法
人ニナツテ居ルガ、今迄ノ農商務省ノ御解釋ハ姑
ク措イテ、司法裁判所デハ公法人ト見ラレテ居リマ
スガ、マア兎ニ角ソレハ別トシテモ、アレハ會ニシ
タ所ガ非常ナル今日アレハニ付テ農事改良發達ニ餘
程ノ利益ガアルカト云フト、ドウモ今日ノ組織デハ
私共是迄經驗シテ居ル所デハ、サウモ思ハレズ、又此
水產會ニシテモ此組織デ見ルト云フト成程此水產ニ

從事シテ居ル者ガ多ク集マツテヤルノデアリマス
ラ、ソレハ利益ガナイデモアリマスマイガ、併ナガラ
之ニシマシタ所ガ十分其利益ヲ計ルト云フコトハ却
テ六ヶ敷イヤウニ思フ、旁々此強制徵收マデモシテ
ヤルト云フヤウナ必要ヲ認メナイノデアリマス、詰
リソレニ勞働者ガ這入ルト云フ譯デモナイシマス
カラ、隨分水產業ニ從事シテ居ル、重ナル者ガ是ニ這
入ッテ來ルト云フコトデアリマスレバ、重ナル人ト云
フノハ勞働者以外ノ地位ノ幾ラカ宜イ者ガ之ニ這入
ルト云フコトニナリマスレバ、五十錢位取ッテモサウ
滞納スル者ガナカラウト考ヘマスガ、旁々強制徵收
シテ稅ヲ取ルト云フコトハ必要ノナイヤウニ思ヒマ
スガ、其邊ノ御意見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(男爵山本達雄君)御尋ノ此水產法案ヲ提
出シマスルニ付キマシテ、色々ノモノガアリマスガ、
其中デ今ノ強制徵收ノコトニ付キマシテハ、最モ論
議ヲ盡シ、又利害ヲ研究シタ譯デアリマスガ、ドウモ
此水產ノ事業ハドチラカト申シマスルト、一體ガ他
ニ比ベマシテ比較的位地ヲ變ヘテ居ッタヤウナコト
デアリマシテ、然ルニ近來日本ノ一體ノ地勢上カラ
水產ニ餘程重キヲ置イテ參ルヤウナコトニ相成リマ
シテ、又ドウシテモサウシナケレバイカスト云フモ
ノデ、一方デハ學校ナドニ於キマシテモ今度ハ程度
ノ高イモノヲ拵ヘルト云フヤウニシテ、サウシテマ
ア十分ニ此方ニ力ヲ向ケテ、サウシテ水產ノ業務ヲ
モウ少シ有效ニ一體ニヤラセタイト云フコトデアリ
マス、ソレニ付キマシテハドウモ今迄ノモノデハ不
完全デ、此度此法案ヲ作リマシテ、サウシテ互ニ聯絡
ヲ通ジテ、其方ノ道ノ發達ヲ計リタイ、ソレニ付キマ
シテ今迄ノ此經費ヲ私法人トシテ銘々ノ有志ノ選ビ
ニ委カセマスルト却々之ヲ有效ニ働イテ行クト云フ
コトハ、困難ヲ感ズル次第デアリマシテ、ドウシテモ
將來ニ至ッテ、段々此方ノ發達ヲスルト云フノニハ、
ソコマデ參リマセスト、モウ現ニ農業アタリノコト
ヲ顧ミマシテモ、ドウモ唯自然ノ徵收ニ委セテ置キ

マスルト云フト、兎角思フ通りニ仕事ヲ遂行スルコ
トガ困難ナコトニナリマシテ、ソレデ是カラ後進メ
ルノニハ、是非共一ツ此強制的ニ於テ、サウシテ經費
ヲ取ッテ有效ニ働クコトヲシナイト、ドウモ唯有志ノ
團體ミタヤウナ風ニナッテイカスト云フヤウナコト
デ、此強制ハ已ムヲ得スコト、シテ、提案ノ中ニ入レ
タ次第デアリマス、是ハ物ハ違ヒマスガ、例ヘバ商業
ノ方デ商業會議所デアリマスガ、アレハ最初強制徵
收ヲ致シマシテ、ソレデ中頃ニ至ッテ色々ノ關係上カ
ラ一時廢シマシテ、廢シマシタガ其結果ハ如何ニナ
ルカト云フト、兎角立派ナ商人デアッテ、來ル人ガ矢
張り自然ニヤルト云フト經費ガ集マラズシテ、銘々
勝手ニヤルト云フコトニナツテ、殆ド有志ノ集リタル
此會議所ト同ジヤウナル結果ニナツテ、共ニヒドク一
時苦ミマシテ其後ト云フモノハ、年々此團體ヲ政府
ガ法人トシテ認メテ居ル以上ハ、強制ニシテ吳レヌ
ト殆ド潰レルヨリ外仕方ガナイト云フヤウナ事デ度
度請願ヲシマシテ、遂ニ採用ニナツテ、數年前ニ矢張
リ元ノ通りニ強制徵收ニシタヤウナ次第デアリマ
ス、ソレデドウモ唯有志ノ團體ナラバデアリマスガ、
斯ウ云フ風ニナリマス、ドウモ或ル程度マデハ強
制的ニヤリマセスト云フト、實行ガ餘程困難デア
ルト思フ次第デアリマス、色々既往ノコト、又將來推シ
マシテ、或ル程度ノ徵稅ハ已ムヲ得ナイモノトシテ
置イタ次第デアリマス、兎角是ハ此法ガ出來マスル
以上ハ、ドウモ誠ニ必要ナコトデアラウト信ズル次
第デアリマス、此段御答イタシマス

○荒川義太郎君 チョット私ハ其間ニ承ッテ置キタイ
デスガ、政府委員ノ御調ガアレバ何デスガ、此農會デ
以テ此費用ヲ滞納ヲシテ居ル者ガ、或ハ此前年度デ
アレバ、九年度ガ分リマセスケレバ、八年度デモ
宜シウゴザイマスガ、分ッテ居リマスカ、尤モ農會ト
云ッテモ、町村農會モアリマセウシ、縣ノ農會モアリ
マセウシ、一番下ノ團體デ宜シウゴザイマス

○政府委員(村上隆吉君) 私共ノ持ッテ居リマスル

材料ガ比較的古イノデ、十分ナ御答ヲ申上ゲ兼ネマスガ、市町村農會アタリノ「滯納」：會費總額ニ對シマスル此滯納者ノ内カラ申シマスルト、大正六年ノ何デゴザイマスガ、比較的大キイ所デ、地主デアリマスルト、三割八分位ノ滯納者ガアリマスルシ、却ッテ低イ所デモ二割二分、却ッテ大キイ地主ノ方ガ滯納ガ多イ、兎ニ角平均ニ致シマシテ、チヨット平均ヲ取ッテ居リマスガ、最高三割八分、最低二割二分、百人ノ内三十八人、百人ノ内二十二二人、最高、最低サウ云フコトニナッテ居リマス

○荒川義太郎君 モウ一ツ政府委員ニ伺ヒタイデスガ、前回ノ時分モチヨット御尋イタシテ置キマシタケレドモ、此商業會議所ノ強制徵收ヲ許スト云フ時ノ法案ノ出マシタ時ニ、政府カラハ、詰リ商業會議所ハ斯ウ云フ強制徵收ノ方法ヲ設ケルガ其他農會等ハ將來ニ於テ先ツ設ケヌ積リデアアル、サウ云フモノハ：ト云フ説明ガ其當時アッタノデアリマスルガ、今例ヘバ大臣ノ今ノ御話ヲ伺ッテ見ルト云フト、ドウモ斯ウ云フモノハドウシテモ強制徵收ノ方法ヲ設ケナケレバイカスト云フコトニ御話ガアッテ見マスト云フト、農會ニシロ、矢張り水産會ト同ジヤウナ性質ノモノデモアリマスガ、將來ハ是等ニ付テハ、矢張り前ノ御説明ト同ジコトニ、農會等ニ付テハ、強制徵收ノ方法ヲ別ニ設ケラレト云フ御考ハ無イモノト見テ宜シウゴザイマスガ、チヨット承リタイ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 農會デアリマスガ、是ハ御承知ノ如ク、是マデ今迄ノ儘デハ頗ル農會ニ於テモ困ル、故ニ強制徵收ニ於テノ途ヲ取ッテ吳レト云フコトハ、殆ド是マデ議會毎ニ衆議院ノ方ニハ建議サレテ居ルヤウナ次第デアアルノデアリマシテ、法律案トシテモ皆イッモマア通過シマセヌ、又政府モ之ニ付テハ今マデ一回モ出シマセヌ、而シテ其モソハ丁度此間本會ニ御答シテ居ルト記憶シテ居リマスガ、大審院デハ之ヲ私法人トシテ判決サレテ居リマシヤウナ次第デ、ソコデアリマシテ、之ガ徵收ヲサセナイ時ニ訴訟シテヤルト致シマシテモ、非常ニ廣イモノデアリマスカラ、ナカ／＼訴訟デ税ヲ取ルト云フコトモ困難デアリマス、ソコデ矢張り強制徵收ト

云フコトガ當局者トシテハ度々惹起シテ居ルヤウナ次第デアリマス、併シドウモ斯ウ致スノニ付テハ矢張りアノ法ヲ改正イタシマシテ、矢張り公法人トスルト云フコトハ、是ハドウモシナケレバナラヌト思ウテ居リマス、御承知ノ通り僅十箇條デアッテ多クハ勅令ニ讓ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、是ハ早晚改正ノ必要ガ起ルト思ヒマス、ソレト同時ニ矢張り此農會ノ方ニ於キマシテモ、時間ノ問題デアリマシテ、早晚矢張り強制徵收ノ途ニナルト云フコトガドウモ至當デ、追々ハ斯ウ致シタ方ガ宜カラウト、實ハ思ウテ居ルヤウナ次第デアリマス、成程前此商業會議所ノ強制ニナル時ニ於キマシテ、當局者ハ當分農會ノ如キ者ニハ及バヌト云フコトヲ答ヘタト記憶シテ居リマスガ、ガ、何シロ此數年ノ間ハ非常ニ産業ノ上ニ付キマシテモ、變化ヲシテ來テ居リマス、ソレカラマア人心ノ上ニ付キマシテモ、非常ニ變化ヲシテ居リマスカラ、斯ノ如キモノモ早晚強制的ノ入費ニ依リヨリ外ニドウモ適當ナ途ハアルマイカト思ウテ居リマス、併シ今日政府ハイツドウト云フコトハ決マッテ居リマセヌガ、追々ハ矢張り其途ニ依ッテ商ナリ、工ナリ、又農業ナリ、矢張りア、云フ團體ヲ公法的ニ處理シテ行クモノナラバ已ムヲ得ナイ、是ハ處置デアラウト信ジテ居リマス

○政府委員(村上隆吉君) 先程農會ノ滯納者ノ分ニ付テ申上ゲマシタコトニ一ツ過チガアリマシタカラ、訂正シテ申上ゲマス、會費納稅義務ヲ負擔シテ居リマス者ノ内デ最高ハ百人中十一「コンマ」二デアリマス、最低四「コンマ」七

○荒川義太郎君 度々伺ヒマスガ、今農商務大臣モ御説明ニナリマシタガ、農會ニ付テモ追々時代モ違ッテ來ルシ、段々ニ斯ウ云フ者ヲ設ケナケレバナラヌト云フ時期ガ到來スルダラウト云フ御話デアリマスガ、併シ私共ノ考ヘマスル所ニ依リマスルト、如何デアリマセウカ、追々時勢モ進歩シテ來、農會ナリ、水産會ナリト云フモノノ必要ヲ段々感ジテ來ルヤウニナリマスレバ、却テ滯納スル者モ少ナクナッテ來テ、段々ニ減ッテ來テ、終ニハサウ云フヤウナ強制ノ徵收ヲシナケレバ、斯ウ云フ會ガ持テナイト云フ

時代ハ、段々ニ過去ッテ來テ、自分ノ所デ所謂自治デ十分ノ費用ヲ出シテヤルト云フ風ニ向イテ來ル傾向ガ多イノデアリマス、其反對ノ傾向ニ追々向イテ來ルヤウニ見ラレマセヌカ、政府ハ如何ニ御考ヘデアリマスカ

○國務大臣(男爵山本達雄君) ドウモ私等ノ思フ所ニ依リマス、自身ノ利害デアアルカラシテ、銘々デ甘ラウト思フノデアリマス、是マデノ所ニ於キマシテモ、ドウモ斯クナルヨリモ、寧ロ反對ノヤウニ思ハレマア同ジ商業ト致シマシテモ、商法會議所ノ如キモノハ、都市ニ於テモ必要ナル縣ニ設ケラレテ居ル所ニ多ク出來テ居ル、其商法會議所ガ方々ニ出來テ自治的ニヤッテ居リマシタケレドモ、矢張りアレラ廢シテカラト云フモノハ、納稅者ガ非常ニ少ナクナッテ來タ、ソコデ矢張り商法會議所ガ立ッテ行ケナイト云フ如キ狀態ニ陷ッテ、請願ニ請願ヲ重ネテ復元トニ返ッタヤウナコトデアリマス、ドウモ斯ウ云フコトハ、矢張り一ツノ法ガ出來テ、或點マデハ強制的ニ行キマセヌト、銘々デ勝手ノ事ヤッテ來テ、サウシテ纏ッテ行クコトガ餘程困難デアラウト思ヒマス、ソコデアマア愈々斯ウ云フ法ガ立ッテ、組織立ッテ行カナケレバナラヌ、國家ノ爲ニ必要デアアルト、斯ウ云フコトデ、ソレヲ公法的ニヤルナラバ、ソレニ付テハ或點マデハ強制的ニヤリマセヌト行カヌノデ、唯有志ガ集ッテソレデヤルヤウナルモノデアリマスルト、ソコハ餘程又違ヒマスケレドモ、ドウシテモ抛ッテ置ケバ十分ナル團體モ出來ズ、十分ナル聯絡ガ付カナイ故ニ、法律ヲ設ケテ團體ヲ作り聯絡ヲ付ケテ行クト云フナラバ、矢張りソレニ對シテハ徵收ヲ強制的徵收ニスルヤウト云フコトガ、ドウモ適當ニシテ、其目的ヲ達セラレルヤウニ思フノデアリマス、チヨット荒川君ノ御話ノヤウナ譯ニ自治制ガ施カレテ眞ニヤレバ能ク行ケルト云フコトハムヅカシカラウト思ヒマス、ソレハ見込デアリマスカラ、何トモ申上ゲラレマセヌガ、私等ノ思フ所デハサウデアリマス

○荒川義太郎君 大體ノ事が見込ナシデアリマスガ、モウ一ツ伺ッテ置キタイノデアリマスガ、政府ニ於キマシテハ強制徴收ノコトガ此法案ニ置イテナケレバ、詰リ此法案ヲ制定スル必要モナシト云フ御見込デアリマスガ、ドウシテモ此項ガナケレバ、此法案ハ行カスカラ入レテアルニ相違アリマセヌガ、若シ假ニ強制徴收ノコトハ除クトシマシテ、サウナルト云フト他ノ法案ガ不必要デアルト云フ御考ヘデアリマスガ、ソレヲ伺ッテ置キマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) ドウモ此ノ事ニ付キマシテ法案ヲ設ケテ來タガ、倍其入費ハドウスルカト云フ事ニナッタトキニ、強制デハイカヌ、ソレナラ民事ニ於テドウスウツ云フノハ公法人デアリマスカラ、是モ困難デアリマス、ドウシテモ之ヲヤリマスニ付テハ、強制徴收ヲ以テヤルト云フヨリ外ニハ、ソレハ餘程困難デアルト思ヒマス、ソレデスカラ此關係ニ付テノ法ヲ履行スルニ付テハドウモ是ガナケレバイカヌト云フ決心デ入レタルコトデアリマスカラシテ、之ヲ制ラレマス、法ヲ履行スル上ニ付テハ餘程ノ困難ヲ生ジテ來ルト思ヒマスカラシテ、先ヅ此法ノ上ニ於テハ、是ハ謂ハバ眼トナルベキモノデ、肝腎ノ眼ヲ這入ラヌトイカヌト云フ位ニ、實ハ私ハ思ッテ居ルノデアリマス

○荒川義太郎君 ドウモ甚ダ一人デ度々伺ッテ相濟ミマセヌガ、モウ少シ伺ッテ見タイノデアリマスガ、若シ是ガ今大臣ノ御説明デハ公法人ト云フコトニナツテ來テ強制徴收ハ出來ズ、サレバトテ民事ニナツテ來ルト徴レヌデ困ルト云フ御話デアリマスガ、サウスルト民事訴訟法ノ手續デ行カレルヤウニナスツタラ如何カト云フコトヲ伺フノデアリマス、サウナリマス、果シテ農商務省ハドウ云フ御解釋ニナツテ居ルカ知リマセヌガ、此條項ニ於テハ農會ト同ジヤウナコトヲ設ケテ置ケバ、民事デ行ケルト思ヒマスガ、其點ハ如何御考ヘデアリマスカ

○國務大臣(男爵山本達雄君) 其農會ナルモノガ、非常ナル困難ヲ見テ居ル、御承知ノ通り農業ト云ヒ、水産ト云ヒマシテモ、ナカク散ッテ居リマスシ、ソレカラ多數ノ者カラ集メタルデアッテ、サウシテ其又

經費ト云フモノハ大變高イモノカト云フト、比較的輕イノデアリマスカラ、ソレデ數ハ大變多ク、ソレデ一人ニ付テノ其經費ハ少ナイ、ソレデ場所ハ大變ニ廣クアルト云フコトデアリマスカラシテ、ソレヲ一吳レナイ者ガアルト云ツテ、民事ノ訴訟ニ依頼シテ來ルト云フコトニナリマス、却ッテ經費ガ多クテ實ガ舉ガラヌヤウナコトデアリマス、ソレデ是ハ公法人トシテスウツ云フコトヲ國家ガ認メナイト云ヘバ別デアリマスガ、認メルト云フ以上ハ、之ヲ實行サセルダケノ入費ト云フモノハ矢張り集ッテ參ル途ヲ採リマセヌト、效力ガ頗ル乏シクナツテ來ルダラウト思フ次第デアリマス

○荒川義太郎君 モウ此先キ伺ヒマシテモ、意見ノ相違ニナリマセウト思ヒマスカラ、質問ハ止メマス

○委員長(伯爵吉井幸藏君) 他ニ御質問ハアリマセヌカ

○子爵伊集院兼知君 第十條ノ所デアリマスガ、水産會ノ會員ノ資格ヲチヨット承ッテ見タイト思ヒマス、ソレハ極小サナ自分ガ船ヲ持ッテ一人デ整理ヲスルヤウナ所ノ極小サナイ者、即チ資産ヲ殆ド持ッテ居ラス位ノ者マデ這入ルノデアリマスガ、或ハ相當ノ資産ヲ持ッテ居ル者ガ這入ルノデアリマスガ、ドウゾ政府委員カラ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(村上隆吉君) 其水産會ノ直接會員ニナリマスモノハ「業ヲ營ム者」即チ營業者ト云フ程度ノモノヲ皆入レマス趣旨デアリマスカラ、相當一家ノ產ヲ爲シテ居リマスモノヲ入レマスノデアリマス、極小サイモノハ入レナイ積リデアリマス

○委員長(伯爵吉井幸藏君) モウ御質問モナイヤウデアリマスカラ、討議ニ移リタイト思ヒマス、全部ヲ問題ト致シマス、御意見ガアレバ伺ヒマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○西久保弘道君 私ハ此ノ案ニハ反對ナノデス、其反對スル理由ハ先刻質問ノ際ニ荒川君カラ述ベラレタ通り、詰リ強制徴收ト云フ點ダケデアリマス、併シ是ハ此案ノ骨子ニナツテ居リマスカラ、之ニ反對スル以上已ムヲ得ズ此案ニ反對セザルヲ得ナイ、其譯ハ此會ニ這入ルノニ任意ノモノデアラナラバ、ソレハ

強制ト云フ事モ承知ノ上デアリマスカラ宜イケレドモ、兎ニ角是ハ一定ノ制限ノ下ニ強制シテ總テノ人ガ、自分ガ幾ラ這入リタクナクテモ、強制シテ入會サセテ、サウシテ又強制シテ徴收スルト云フノハ、實ニヒドイ話デハナカラウカト思フ、ソレデ所ガドウデアルト云フノニ、是ハ農會デノ經驗ニ依ッテ見テモ、ソレハ水産デ公法人トシテ法トシテハ立派ナモノデアリマスケレドモ、併シ私ナドノ考ヘマスルノニ今日農會デヤツテ居ル事モ法文トシテハ既ニ立派ナモノデアルガ、アル人ハ同ジヤウナ人デ農會ニ、對スルト同様ナ人ガ水産ニ對シテ仕事ヤルノデアリマスカラ、十分效果ヲ舉グルコトハ實ハ思ハナイ、サウ云フ會ニ強制シテ入レテ、サウシテ強制シテ徴收スル、先刻荒川君ノ云ハレル通り今日稅ト云フモノハ非常ニ澤山ナモノデ皆國民ハ稅ノ高イノニ泣イテ居ル、ソレガ現ニ今日畜產ヲ強制シテサウシテ、今度ハ水産ヲ強制スル、又農會ヲ強制スル、又山林ヲ強制スル、所ガ是ハ多クハ地方ヘ行ッテ見ルト總テ畜產山林モ、農會モ、此畜產モ山林モ、此農ノ方モ、水産ノ方モドウカスルト總テ一人ノ人デ以テ關係シテ居ルサウスルト詰リ澤山ノ税金ヲ出ス上ニ又一種ノ税金ヲ出サナケレバナラヌト云フ事ニナツテ、國民ハ實ニ此負擔ニ今日デスラ既ニ堪ヘナイノニ、斯ウ云フ風ニイロくノ點カラ名義ハ變ッテモ、稅ヲ出スモノハ同ジコトニナルカラ、國民ノ困シミ方ト云フモノハ如何バカリデアラウカ、此點ヲ實ハ私ナドハ心配ヲ致シマスカラ已ムヲ得ズ、此案ニ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、實ハ此豫算ノ方ニアリマスル補助ト云フヤウナコトハ、實ハ農會同様に仕組ニデモサレテ、此補助費ハ、實ハヤリタイト思ヒマスケレドモ、併ナガラ今日切迫ノ際デ、サウ云フ様ナ御註文モ到底出來ル譯デナイ、一面ニハ衆議院モ通ッテ來テ居ル、會期モ切迫シテ居リマスカラ已ムヲ得ズ此案ニハ反對スルト云フ譯デアリマス

○荒川義太郎君 私モ全然今西久保君ノ仰シヤル御說ニ賛成デアリマス、ソレデ先刻チヨット質問モイタシマシタガ、今日ナカク國ナリ府縣ナリ町村ナリノヤツテ居ル事業モ非常ニ餘計ニアル、ソレニ向ッテ

モ税ヲ出サナケレバナラヌト云フコトモ實ハ非常ニヒドイノデアリマス、ナカレバ重税デアリマス、ソレニシテモ是非今日ノ世ノ中トシテ皆國ナリ、府縣ナリ、町村ナリヤラナケレバナラヌト云フコトモ最モ多イノデ、是等ノ水産會ニシテ所ガ不必要デハアリマス、マイガ比較ノ點カラ申シマス、左程必要ハナイト考ヘマス、税同様に金マデ取ツテヤルト云フコトハ、今日マダソレダケニ必要ヲ認メテ居リマス、故ニ此案ニ付テハ西久保君ニ賛成デ、此案ニハ反對デアリマス。

○子爵伊集院兼知君 私ハ原案ニ賛成スルモノデゴザイマス、理由ト致シマス所ハ、私等ノ先輩ノ西久保君ノ仰セラレタ事ハ御尤モデアリマセウガ、私ノ又理由ト致シマス所ハ少シク違フノデアリマス、此法案ト云フモノハ惡イデハナイ、皆サンガ是ハ賛成デアル、唯二十六條ノ強制徵收ト云フ事ガドウモ氣に入ラヌ斯ウ言ハレルノデアリマス、私ガ考ヘテ見マスルニ此事ハ會費ヲ正シク支拂ツテ行クモノニハ何等ノ苦痛ハナイコトト思フノデアリマス、而シテ横著ナ者ガ是ハ會費ヲ強制的ニ徵收サレルカラ苦痛ヲ感ズルニ相違ゴザイマセヌ、ソレ故ニ單ニ考ヘテ見テモ、正直ナ者ハ差支ナク、横著ナ者ノミ苦痛ヲ感ゼシメルノデアリマス、カラ是ハ宜シイコトト思フ、ソレカラ今一ツハ政府委員ガ度々説明サレル如ク、斯ウ云フ會ハ是ハ大審院ノ判決ニモアル通り、當然公法人ト云フモノニナル、公法人ナレバ強制徵收ヲシテモ差支ナイ斯ウ云フコトニナルノデアリマス、此二ツノ點ニ於テ私ハ本案ニ賛成ノ意ヲ表スルモノデゴザイマス。

○子爵米津政賢君 私モ原案ニ賛成ヲ致スノデアリマス、大體唯今伊集院子爵ノ御述べニナリマシタコトト相似タモノデアリマシタコトモ、一通リ私ノ考ヘテ居リマス、所ヲ述ベテ見ヤウト思フ、ドウシテモ此類ノ産業ヲ發展サセル爲メニハ、官廳ノ督勵バカリデナク、自治機關ガ組織サレテ、當業者ガ自覺シテ活動シテ行クト云フコトガ、甚ダ必要デアルト云フコトハドナタモ十分御認メニナル所ダト思フ、今日水産業ヲ發達サセル爲メニ此水産會法案ガ提案サ

レタノデアリマスガ、御承知ノ通り我國ハ四面環海ノ國デアリマスカラシテ、此水産業ノ發達ハ十分ニ助長シナケレバナラヌシ、今日ニ於テハ其餘地ハ未ダ廣イノデアリマス、陸上ニ於ケル農業ト對立シテ盛ニナツテ行カナケレバナラヌノデアリマスカラシテ、モット早ク斯ウ云フモノガ提案サレテ居ッテ宜カッタラウト思フ位デアリマス、斯ウ云フ水産會ナルモノノ、將來ノ發達ヲ希望スル爲メニハ、先ヅ其存立ヲ鞏固ニシテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、カラシテ、強制徵收ヲスルヤウナコトモ自カラ必要ナル處置デアラウト思ヒマス、ケレドモ今マデ出來上ッテ居リマス、色々ナ産業ノ團體ノ中ニモ、隨分此成績ノ不振ナモノモ幾ラモアリマスカレドモ、産業上ノ自治團體ト云フヤウナモノハ、マダ經歷モ淺イコトデアッテ、當局者ノ自覺訓練モ不充分デアリマスカラ、サウ云フ非難ガアルノモ無理ハナイ、從ッテサウ云フヤウナ不様ノ状態ニ在ルモノニ、強制徵收ノ利器ヲ與ヘルト云フコトガ非常ニ必要ナリト云フヤウナ感ジモシナイデハアリマセヌケレドモ、發達ノ幼稚ナ少年時代、訓練時代ノ團體ニ對シテハ、色々ノ方面カラ非難ガアルノモ已ムヲ得ナイコトデアルガ、大局ヨリ見たナラバ、飽クマデサウ云フ團體ハ擁護シテ、實行シツツ訓練ヲ重ネテ行カナケレバナラヌモノト思ヒマス、決シテ今日ニ於テサウ云フモノノ成立ヲ沮止スル理由ハ一モ見出し得ナイノデアリマス、デ農會ノ中ニハ、數多キ農會ノ中ニハ隨分成績ノ面白クナイノモアリマスカレドモ、幸ニシテ是ハ農會ノ中ニ於テモ、今日ニ於テ十分自覺シテ活動ノ緒ニ就カントシテ居ルモノモ實際ニ於テ開知ッテ居リマス、斯ウ云フモノハ遠カラズ農會發達ノ先導者ニナルノデアラウト思ヒマス、カラ、サウ云フモノガ今日唯一ツキリデアリトスルモノ、十分吾々ノ意ヲ強クスルニ足ルモノト思ヒマス、農會其他ノヤウナ團體ニ對シテ、補助金ヲ多クスルト云フコトモ、無論一ツノ策デアルトハ思ヒマス、ケレドモ、寧ろ其ノヤウナ團體ニ對シテ、強制徵收ヲ途ヲ許シテ、補助ヨリハ寧ろ團體ノ自立ヲ擁護スル方ガ前提デアラウト考ヘマス、補助金ガ少イト云フコトニ付テハ、西久保君モ言ハ

レマシタ通り、此法案ニ對スル豫算上、政府委員ノ説明ヲ伺ッテモ、補助金ガ甚ダ少イトハ、自分モ非常ニ不満足ニ考ヘマシタケレドモ、補助金ヲ以テ助ケルヨリハ、強制徵收ノ途ヲ開イテ、團體ノ成立スルヤウナ擁護シテヤル事ガ寧ろ前提デハナイカト思ヒマス、サウ云フヤウナ意味ニ於テ、今日此公共團體ニ對シテ必要ノ手段ノアルコトハ、是ハ否認セズ、又排斥モセズ、寧ろサウ云フ非難ヲ包含シテ、此案ニ賛成シタイト思ヒマス、ダカラシテ、今サウ云フ團體ノ中ニ不振ノモノヲ認メル、又租税ノヤウニ強制的ニ取立テルト云フコトハ不穩當デアルト云フコトニ關シテモ、是ハマダ經歷モ淺イ、短イ過去ニ對スル唯現在ノ非難ニ過ギナイノデアルカラシテ、勿論長クサウ云フ團體ヲ満足シヤウトハ思ヒマセヌケレドモ、今ヤ其實行ハ訓練ノ時代デアルト見做シテ、サウ云フ非難ハ却ッテ反省ノ種ニ爲シツツ、寧ろ助長シテ行クベキモノデアルト考ヘマス、デ此ヤウニ小サナ委員會ニ於テモ數人集レバ、尙ホ一二ノ苦言ガ出ル位デアリマスカラ、斯ウ云フ團體ノ指導ノ任ニ當ル政府當局者ニ於キマシテハ、十分ナル反省ヲ以テ助長スルヤウニシテ行キタイト思ヒマス、ソレガ爲ニハ一時ノ水産會等ガ澤山揃ッテ出來上ル、外觀ガ立派ニ備ウト云フコトヨリハ、寧ろ十分ニ創立ノ基礎ヲ嚴重ニシテ調ベテ著々ニ教導シテヤルト云フコトニシ、長イ時ヲ費スラ厭ハナイデ完全ナル成立ノ出來ルヤウニサレテ戴キタイト思ヒマス、ソレデ殊ニ此水産會ノ如キハ、最モ遅ク生マレタ團體デアリマスカラ、幾ラモ鑑ミルベキ先例ガ多イノデアリマスカラ、特ニ注意ヲ加ヘラレテ發達スルヤウニ助長セラレムコトヲ希望シテ、私ハ本案ニ賛成ヲ致スノデアリマス。

○男爵赤松範一君 此本案ニ對シマシテ、反對ノ御意見ノアリマス、ハ主トシテ經費ノ強制徵收ト云フ點ニアリマス、デ、先刻西久保君カラ出マシタ御意見ノ、一方ニ強制加入ヲ行ッテ居ッテモ任意ニ加入シテ居ラナイ者カラ、尙ホ其經費ヲ強制徵收ト云フ事ハ甚ダヒドイチャナイカト云フ御意見デアリマシタガ、此水産會ノ創立ニハ、其地區内ニ會員ノ資格ヲ有

スル者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ初メテ開クコトガ出來ルノデアッテ、創立スルコトガ出來ルノデアッテ、殘リノ三分ノ一ガ眞ニ強制加入ヲサセル譯ニナルノデアリマス、而モ此僅ナル會費ヲ負擔スルコトニ堪ヘナイヤウナ資力ノ乏シイ者ハ、一方命令ヲ以テ除外サレルヤウニナッテ居ルノデアリマスカラシテ、此強制徵收カラ生ズル弊害ハ大部分除クコトガ出來得ラレルト信ズルノデアリマス、要スルニ私ハ此本案ガ今日比較的幼稚ナル我が水産業ノ發達ヲ畫ル上ニ於テハ、極メテ重要ナル意味ノアルモノト信ジマスノデ賛成ヲ致シマス

○子爵伊集院兼知君 討論終結ノ動議ヲ……

○委員長(伯爵吉井幸藏君) モウ御意見ガナイト見テ宜シウゴザイマス、ソレデハ是カラ決ヲ採リマス、本案ヲ否決スベシト云フ諸君ハ手ヲ舉ゲテ下サイ

〔舉手者少數〕

○委員長(伯爵吉井幸藏君) 少數デゴザイマス、本案ニ賛成ノ諸君ハ手ヲ舉ゲテ下サイ

〔舉手者多數〕

○委員長(伯爵吉井幸藏君) 多數デゴザイマス、ソレデハ可決ニナリマシテゴザイマス、是デ散會イタシマス

午後二時三十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵吉井 幸藏君
副委員長 西久保 弘道君
委員 子爵伊集院 兼知君
子爵米津 政賢君
荒川 義太郎君
男爵本田 親濟君
男爵赤松 範一君

國務大臣

農商務大臣 男爵山本 達雄君

政府委員

農商務次官 田中 隆三君

大正十年三月二十三日印刷

大正十年三月二十四日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局